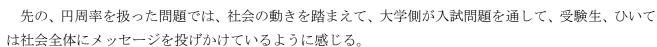
気の向くままに… ~英語で表現コーナー~ vol.12

Today's Mission

大学入試の問題には、ある種のメッセージが込められていると思う。数学でいえば、①「円周率が 3.05 よりも大きいことを証明せよ」という東京大学の入試問題は有名である。

また、大阪大学が「点と直線の距離公式」を証明させる問題を出題したのもよく知られている。 実は、公式を証明する問題は入試でよく見かけられる。積分の分野で出てくる面積公式、対数関数で出てくる底の変換公式、加法定理の証明、などなど。



公式の証明については「ただ、公式を覚えていたらよいと考えていないかい?」という思いが込められているように感じる。<u>②勉強をするときは、ただ覚えるのではなく、理解することが大切なのだということを忘れてはならない</u>。機械的に覚えるのは、勉強とは言えない。また、理解をするというのは、"なぜそうなるのか"ということに加え、"なぜこれが問われているのか"という、出題者の意図を読み取り、自分の解答を通して意思を通じ合わせることなのではなかろうか。

【3-1 担任 過去の HR 訓話より】

答えの投稿は、下記のアドレスまで!休校期間中の課題の質問も受け付け中!

徒然なるままに...

2年ほど前に、ある所で工場見学をしたことがあります。もともと工場見学は好きな方で、「この商品はどうやってできているのだろう?」というのがよく気になってしまうのです。皆さんの中に、共感してくれる人はいるかな?

工場見学をする方法として、予約を必要とするところや、一般公開しているところ、 当日見学料金を払って見学をするところ等、様々な方法があるようです。事前に要チェック、というのは言うまでもありません。

さて、実際に工場見学をすると、その圧倒的なスケールと工程に驚かされることが 非常に多いです。1つの商品を作るのに、幾重にもわたる工程を経るのです。感動さ え覚えます。そして、我々の目の届かないところでも、多くの人が最高の商品を作る ために日夜努力をされています。実に多くの関わりを通して、世の中へと出ていくわ けです。

ただ、商品が出来上がる工程が気になるのはもちろんなのですが、私はもう1つ気になることがありました。

「この機械はどういう仕組みなのだろう…?」「この機械はどこで作られたのだろう…?この機械がないと、生産性にも大きく影響するのでは…?」

スムーズに商品を作るために、たくさんの機械が存在するわけですが、その機械もまた別のところで(自社の場合もあると思います)製造され、工場で活用されているのだと考えると、本当にいろいろなところでつながり合っているんだなぁ、と感慨深くなります。

過去の写真を振り返り、そう思い返したのでした。今回も、本当に徒然なるままに…ですね。



35 回生投稿窓口・35 回生質問受付窓口 takatsuka2019@gmail.com

(件名に、学年、組、番号、名前、用件を必ず書いて送信。: 気の向くままに vol. 0 参照) (投稿・質問以外のメールは固くお断りします。休校期間が終了次第、本メールは閉鎖します

気の向くままに… ~英語で表現コーナー~ vol.13 へ続く 編集 35 回生学年団 3-1 K.M